

世界遺産
平泉





中尊寺



世界遺産

平安美術の宝庫
三千有余点の国宝・重要文化財

金色堂内陣 (中央壇)

1. 金色堂新覆堂
2. 本堂
3. 経蔵
4. 紺紙金銀字交書一切経 見返し絵
5. 金銅華鬘 (こんどうけまん)

中尊寺は嘉祥3年(850)、比叡山延暦寺の高僧慈覚大師円仁によって開かれました。

その後、12世紀のはじめに奥州藤原氏初代清衡公によって大規模な堂塔造営が行われました。

清衡公の中尊寺建立の趣旨は、11世紀後半に東北地方で続いた戦乱(前九年・後三年合戦)で亡くなった生きとし生けるものの霊を敵味方の別なく慰め、「みちのく」といわれ辺境とされた東北地方に、仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を建設する、というものでした。それは戦乱で父や妻子を失い、骨肉の争いを余儀なくされた清衡公の非戦の決意でもありました。

中尊寺創建当初の姿を今に伝える金色堂は天治元年(1124)に上棟されました。堂の内外に金箔を押してある「皆金色」の阿弥陀堂です。まず堂内の装飾に目を奪われます。4本の巻柱や須弥壇(仏壇)、長押しにいたるまで、白く光る夜光貝の細工(螺鈿)、透かし彫りの金具・漆の蒔絵と、平安時代後期の工芸技術を結集して荘厳されており、堂全体があたかも一つの美術工芸品の感があります。



紺紙金銀字交書一切経 維摩詰経巻下



浄土庭園大泉が池

世界遺産



特別史跡・特別名勝
浄土世界がひろがる日本を代表する庭園

毛越寺

1. 浄土庭園大泉が池
2. 本堂内陣
3. 本堂
4. 常行堂
5. 遣水(やりみず)



毛越寺は慈覚大師円仁が開山し、二代基衡公から三代秀衡公の時代に多くの伽藍が造営されました。往時には堂塔40僧坊500を数え、中尊寺をしのぐほどの規模と華麗さであったといわれています。奥州藤原氏滅亡後、度重なる災禍に遭いすべての建物が焼失しましたが、現在大泉が池を中心とする浄土庭園と平安時代の伽藍遺構がほぼ完全な状態で保存されており、国の特別史跡・特別名勝の二重の指定を受けています。

庭園の作者は不明ですが、いたるところに作庭記流の意匠が見られることから、作庭記に精通した者の意匠であることがうかがえます。広大な池泉を中心として作庭されており、中島

が二島、池泉の東南岸に一ヶ所、南側に三ヶ所の出島が作られています。大きい方の中島のほぼ正面に金堂跡があり、鐘楼跡と鼓楼跡があります。作庭当初においては、中島から南大門に反り橋を架けてつないでいたといわれ、このことから寝殿造りの意匠であることがわかります。池のほぼ中央には勾玉状の中島が配され、池の周辺や中島には玉石が敷かれています。水際には海岸の風景を、また随所に山水の景観を映しており、中でも池の東南岸にある荒磯風の出島は、庭園の中で最も美しい景観の一つです。出島の先端に高さ2m余りの立石がほどよい傾きをもって立ち、広い水面を引き締めています。



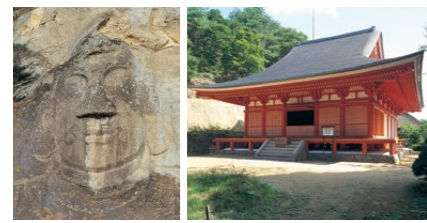
浄土の風ふきわたる阿弥陀の寺 観自在王院跡

二代基衡公の妻が建立したと伝えられる寺院跡。ほぼ完全に残っている浄土庭園の遺構は平安時代に書かれた日本最古の庭園書『作庭記』の作法どおりと考えられています。池の北岸に大阿弥陀堂と小阿弥陀堂が設けられていたことから、極楽浄土を表現した庭園と考えられています。



1200年の歴史を誇る 達谷窟毘沙門堂

開山1200年の歴史を持つ達谷西光寺は平泉最古の寺院であり、みちのく随一の霊場として有名です。神秘のパワースポットとして人気がある窟毘沙門堂はじめ、境内には来訪者の開運を約束する神仏が数多くまつられています。



岩面大佛 達谷西光寺金堂



義経像 義経堂

平等院鳳凰堂を模した壮大な寺院 無量光院跡

三代秀衡公が、宇治平等院の鳳凰堂を模して建立した寺院跡。調査の結果、阿弥陀堂の柱間や翼廊の左右が鳳凰堂より大きく、平等院を超えようとした意欲が感じられます。建物の中心線は西の金鶏山と結ばれており、その稜線上に沈む夕日に極楽浄土をイメージした、浄土庭園の最高傑作といわれています。



奥州藤原氏の拠点 柳之御所遺跡

高館の麓から北上川沿いに段丘が広がるこの一帯は、古来、藤原清衡・基衡の屋敷跡と伝えられてきました。これまでの発掘調査により、中国産の白磁の壺、東海地方の陶製の大甕、さまざまな木製品や大量消費された「かわらけ」、堀や塀、池や井戸など、12世紀の平泉遺跡群の中でもずば抜けた質と量の遺物、遺構が発見されたことから、遺跡は「吾妻鏡」に見える平泉館（政庁）に想定されており、平成22年4月から史跡公園として公開されています。

高館 日本史の英雄・源義経、経高の地

高館は中尊寺の東方にある丘陵で、判官館とも呼ばれています。源義経公最期の地と言われる高館には義経堂が建ち、弁慶が立ち往生した衣川が望まれ、眼下には北上川が静かに流れています。

まちづくりの基準となった象徴の山 金鶏山

中尊寺と毛越寺のほぼ中間に位置する円すい状の山。頂上には経塚があり、「平泉を守るため黄金の鶏を埋めた」や「北上川まで人々を並べ、一晚で築いた山」などの伝説が残っています。松尾芭蕉が『おくの細道』の中で、「秀衡が跡は田野となりて、金鶏山のみ形をのこす」と記した、数々の伝説に彩られた山です。

見学施設



平泉文化遺産センター

世界遺産に登録された資産を含めた「平泉の文化遺産」の魅力、分かりやすく紹介しているガイド施設。平泉の歴史を、図解と重要文化財など時系列で展示しています。また、期間限定で平安時代の衣装である十二単の衣装体験を行えます。

入館料：無料
開館時間／9:00～17:00 (16:30までに入館)
休館日／年末年始
〒029-4102 平泉町平泉字花立44 ☎0191-46-4012
※衣装体験の期間はお問い合わせください。



柳之御所資料館

柳之御所遺跡は、奥州藤原氏の政治拠点「平泉館」の跡と推定されています。その広大な敷地から大量に出土した、貴重な考古資料と充実した解説パネルで、遺跡の概要をわかりやすく紹介しています。

入館料：無料／開館時間／9:00～17:00
休館日／年末年始
〒029-4102 平泉町平泉字伽羅楽108-1 ☎0191-34-1001

浄土への想い

【奥州藤原氏初代清衡公、仏国土建設の夢】

「中尊寺建立供養願文」に込められた、鎮魂・平和希求・万物共生の祈り



藤原清衡 (1056～1128)

波乱の青年時代

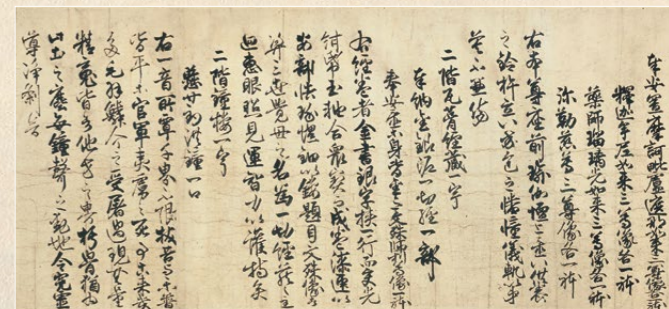
藤原清衡公は、陸奥国亘理(現・宮城県)の豪族の経清の子として生まれました。父が前九年合戦で源頼義に反旗をひるがえして最期を遂げると、母が敵将であった清原武則の長男・清原武貞に再嫁することで死を免れると共に、母の連れ子として清原家の一族となりました。その後、清原一族は係累がかなり複雑であったことから内紛が絶えず後三年合戦が勃発、争いは繰り返され、清衡は妻子も亡くしましたが、最後まで生き延び一族最後の残存者として奥六郡を領する勢力者となりました。時に寛治元年(1087)清衡32歳の事でした。

奥州の覇者誕生

本拠地を江刺郡豊田館(現・奥州市)に構え、実父の姓である藤原に復し、奥州藤原氏の祖となり勢力の拡大を図る一方、京都の藤原氏に馬や砂金を贈って交誼を深め、また、柴田郡の大高山神社・刈田郡刈田嶺神社の年貢金を代納するなどして、奥羽の統治者としての地位を築きました。1094年には平泉に居を移して政治文化の中心都市の建設に着手し、中央の仏教文化を導入して中尊寺を再建しました。こうして、平泉に壮大な都市を建設し、中央政権と一線を画した平泉四代100年の時代を実現しました。金銀螺鈿を散りばめた「金色堂」落慶の翌年、当時としては長命の73歳で没しました。

中尊寺建立供養願文に誓う

清衡公は長治2年(1105)より中尊寺の造立に着手します。まず東北地方の中心にあたる関山に一基の塔を建て、境内の中央に釈迦・多宝如来の並座する多宝寺を建立し、続いて百余体の釈迦如来を安置した釈迦堂を建立します。この伽藍建立は『法華経』の中に説かれる有名な一場面を具体的に表現したものでした。そして中尊寺建立供養願文のなかで「東北地方で続いた戦乱(前九年・後三年合戦)で亡くなった生きとし生けるものの霊を敵味方の別なく慰め「大和に抵抗しつづけたまつろわぬ人、蝦夷」といわれ辺境とされた東北地方に、仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を建設する」と宣言します。それは戦乱で父や妻子を失い、骨肉の争いを余儀なくされた清衡公の非戦の決意でもありました。



中尊寺建立供養願文【重要文化財】(部分)

平泉文化散歩

- ① 山口青邨句碑 「人も旅人 われも旅人 春惜しむ」
場所／中尊寺能楽堂前
建碑／昭和35年、東北夏草会
- ② 松尾芭蕉句碑 「五月雨の 降残してや 光堂」
場所／中尊寺金色堂
建碑／延享3年(1746)、山目山笑庵連中
- ③ 松尾芭蕉句碑 「夏草や 兵どもが 夢の跡」
場所／毛越寺南大門跡の傍
建碑／宝暦7年(1757)、芭蕉の甥確花也藝禪師
芭蕉の真筆ともいわれる
- ④ 遠藤梧逸句碑 「清衡の 願文の意の 大文字」
場所／中尊寺東物見台
建立／昭和40年

- ⑤ 西行法師歌碑 「き、もせず 東稻やまのさくら花
よし野のほかに かゝるべしとは」
場所／中尊寺東物見台
建立／昭和35年
- ⑥ 宮沢賢治詩碑
七重の舎利の小塔に
蓋なすや 緑の燐光
大盗は銀のかたびら
おろがむとまづ膝だてば
緒のまなこたゝつぶらにて
もろの眩映えかゝり
手触れ得ね舎利の寶塔
大盗は禮して没ゆる
場所／中尊寺金色堂入口
建立／昭和34年、金色堂850年記念にて



松尾芭蕉像
場所／金色堂旧覆堂の傍(平成元年作)





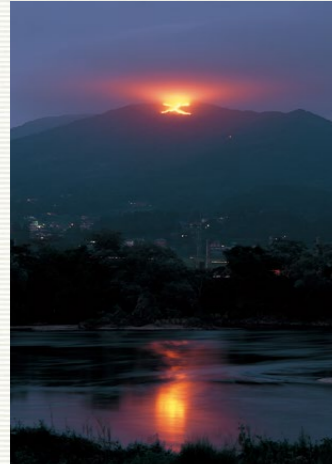
中尊寺能「秀衡」

中尊寺能

中尊寺の御神事能は、近世以来一山僧侶によって厳格に継承されてきました。この舞台上で地謡方をつとめるのは、桜本坊(喜多流シテ方)の指導で謡曲を習得した人たちです。



春の藤原まつり(源義経公東下り行列)



平泉大文字送り火



中尊寺新能



毛越寺曲水の宴



平泉水かけ神輿



中尊寺菊まつり

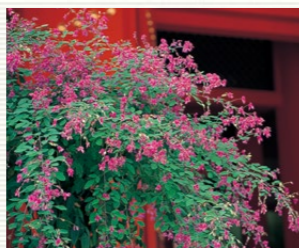


延年の舞「老女」

毛越寺延年

毎年正月20日に常行堂で行なわれる摩多羅神の例祭(二十日夜祭)に、法要のあとに奉納されるのが「延年の舞」です。延年とは齢を延べる、つまり長生きをするという意味で、転じて諸大寺で法会のあとに僧侶らによって演じられる遊宴歌舞の総称として用いられるようになり、平安時代から室町時代にかけて盛んに行なわれました。

毛越寺の延年は古い形を残していることで知られ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、延年の舞は二十日夜祭のほか春・秋の藤原まつり、あやめ祭り、萩まつりにも一部公開されます。



毛越寺萩まつり



毛越寺二十日夜祭

平泉歳時記

開催期日	イベント(場所)
1月1日	元朝詣り(中尊寺・毛越寺・達谷西光寺)
1月20日	毛越寺二十日夜祭(毛越寺)
2月第1土or日	中尊寺節分会(中尊寺)
5月1日～5日	春の藤原まつり 郷土芸能(1・2・4日 町内)
1日	稚児行列(中尊寺)
2日	源義経公東下り追善法要(高館)
3日	源義経公東下り行列(中尊寺・毛越寺)
4日	中尊寺神事能(中尊寺) 毛越寺哭き祭り(観自在王院跡)
5日	中尊寺神事能(中尊寺) 毛越寺延年の舞(毛越寺) 弁慶餅競技大会(平泉駅前)
5月第4日曜日	毛越寺曲水の宴(毛越寺)
6月20日～7月10日	毛越寺あやめ祭り(毛越寺)
7月中旬	平泉水かけ神輿(町内)
8月14日	中尊寺新能(中尊寺)
8月16日	平泉大文字送り火(町内)
9月15日～30日	毛越寺萩まつり(毛越寺)
10月20日～11月15日	中尊寺菊まつり(中尊寺)
11月1日～3日	秋の藤原まつり(中尊寺・毛越寺)

料金案内

[平成29年4月現在]

拝観料・入館料						
	大人	高校生	中学生	小学生	30名以上	100名以上
中尊寺 平泉町平泉字衣関202 ☎0191-46-2211(代)	¥800	¥500	¥300	¥200	10%割引	20%割引
拝観時間	3月1日～11月3日▶8:30～17:00 11月4日～2月末日▶8:30～16:30					
毛越寺 平泉町平泉字大沢58 ☎0191-46-2331	¥500	¥300	¥100		10%割引	20%割引
拝観時間	3月5日～11月4日▶8:30～17:00 11月5日～3月4日▶8:30～16:30					
高館義経堂 平泉町平泉字柳御所14 ☎0191-46-3300	¥200		¥50		10%割引	20%割引
拝観時間	3月5日～11月4日▶8:30～16:30 11月5日～3月4日▶8:30～16:00					
達谷窟毘沙門堂 (別當達谷西光寺) 平泉町平泉字北沢16 ☎0191-46-4931	¥300	¥100	無料*		10%割引	
拝観時間	4月1日～11月23日▶8:00～17:00 11月24日～3月31日▶8:00～16:30 ※季節により変動あり *1教育旅行は¥100					
平泉文化遺産センター 平泉町平泉字花立44 ☎0191-46-4012	無料					
開館時間	9:00～17:00(16:30までに入館) 休館日/年末年始					
柳之御所資料館 平泉町平泉字伽羅婆108-1 ☎0191-34-1001	無料					
開館時間	9:00～17:00 休館日/年末年始					
平泉文化史館 平泉町平泉字坂下10-7 ☎0191-46-2011	¥310	¥150	¥100		10%割引	20%割引
開館時間	9:00～16:00(12月から3月は不定休)					

ガイド料金

	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	
観光ガイド [中尊寺境内] 平泉町平泉字坂下9 ☎・FAX0191-46-4203 ※51人以上10人増毎に540円追加 ※案内時間は120分まで	一般 ¥3,240	¥4,320	¥4,860	¥5,400	¥5,940	
高・中・小	¥3,240	¥3,780	¥4,320	¥4,860	¥5,400	
(一社)古都ひらゐみガイドの会 平泉町平泉字泉屋76 (JR平泉駅構内) ☎0191-46-5710 FAX0191-46-3518 (9:00～16:00)	2時間以内 ガイド1人に付き		基本料金 ¥3,500	2時間を超える場合 1時間毎の時間加算料金 ¥1,000		
但し、対象は1人から20人までとし、21人以上は原則2班編成をお願いします。以下20人単位でガイド1名とします。4月中旬～11月初旬まで毛越寺に常駐しております。ガイド時間は40分。毛越寺のガイド1人当りの料金は1～5人まで1,000円、6～10人まで200円増、11人以上は2,000円です。						
岩手ひらゐみ通訳ガイドの会 平泉町平泉字泉屋76 (JR平泉駅構内) ☎0191-48-3762 FAX0191-46-3518 (9:00～16:00)	(ガイド)	2時間まで10,000円 2時間を超え、1時間ごとに5,000円加算 ※交通費、食事代、宿泊代等の実費は別途ご依頼内容に応じてお見積もりいたしますのでお気軽にお問い合わせください。				
(翻訳)	ご依頼内容ごとに料金が異なりますので詳しいことはお問い合わせください。					
※ガイドは事前予約制となっております。 ※県外発着についても、ご相談に応じます。 ※各言語でのお問い合わせはFAXもしくはe-Mailでお願いいたします。						

交通案内

[平成29年4月現在]

レンタカー&レンタサイクル		
レンタカー	平泉レンタカー ☎0191-46-4190	5人乗り(3時間¥2,000) 30kmまで 10人乗り(3時間¥4,000) 50kmまで ※料金は全て税別
レンタサイクル	平泉レンタサイクル [駅北隣] ☎0191-46-5086	一般自転車(3時間¥500/1日¥1,000) 電動自転車(3時間¥600/1日¥1,300) 台数80台 ※1時間増すごとに¥200 ※雨天・冬期は状況による
レンタサイクル & レンタカー	ゴールドレンタ平泉 ☎0191-46-4031	一般自転車(3時間¥500/1日¥1,000) 電動自転車(3時間¥600/1日¥1,300) ※1時間増すごとに¥200 レンタカー(3時間¥3,000～) レンタカー(6時間¥4,500～)

タクシー	路線バス
一関平泉タクシー ☎0191-23-5630	岩手県交通 ☎0191-23-4250 一関～イオン前沢間 常時運行
なのはな観光タクシー ☎0191-23-1111	
県南タクシー ☎0191-46-2336	
一関中央交通 ☎0191-31-3333	
アイタクシー ☎0191-25-6666	

平泉巡回バス「るるん」		
巡回バス「るるん」	平泉駅前…毛越寺…悠久の湯平泉温泉…平泉文化遺産センター…中尊寺…高館義経堂…無量光院跡…道の駅平泉…平泉駅前	大人 ¥150 子供 ¥80 1日フリー券 ¥400
問い合わせ先	岩手県交通一関営業所 (一社)平泉観光協会	☎0191-23-4250 ☎0191-46-2110
		春季～秋季:平日30分、土日祝日15分間隔(5月3日運休時間あり) 秋季～冬季:30分間隔 年末年始運休

町営駐車場				
	大型車 30人乗り以上	マイクロ 10～29人乗り	普通車 9人乗りまで	自動二輪車
中尊寺第1駐車場 148台 ☎0191-46-2008	¥950	¥800	¥400	¥50
中尊寺第2駐車場 322台 ☎0191-46-5178	¥950	¥800	¥400	¥50
毛越寺駐車場 330台 ☎0191-46-2078	¥750	¥600	¥300	¥50

音声ガイドペン料金

◎平泉町内音声ガイド(音声ペン)
(日本語・英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語)

(一社)平泉観光協会
TEL.0191-46-2110
FAX.0191-46-2117

●平泉町内の説明用として音声ガイド(音声ペン)を貸出(1台) ¥500
●貸出・返却所:平泉観光案内所、月見坂入口、讃衡蔵、毛越寺礼所、平泉観光レストセンター、道の駅平泉

味 ✦ 平泉ならではの味に、舌鼓。 体験 ✦ 心と体に、心地良い。 土産 ✦ 匠の技が映える、逸品。



盛り出し式わんこそば、そば定食、とろろそば、餅料理、精進料理、はっと料理など、平泉ならではの味をたっぷりご賞味下さい。
◎(一社)平泉観光協会 TEL.0191-46-2110



旅の思い出に、写経や坐禅体験はいかがですか?
日時◎随時(要予約)
予約先◎中尊寺/TEL.0191-46-2211
毛越寺/TEL.0191-46-2331



平泉町内市街地MAP



○東北自動車道
平泉前沢IC~中尊寺入口
約3.4km(車で12分)

○東北自動車道
平泉前沢IC~平泉駅
約4.8km(車で14分)

- ← りんるんバスルート
りんるんバス停
- ① 平泉駅前
 - ② 毛越寺
 - ③ 悠久の湯平泉温泉
 - ④ 平泉文化遺産センター
 - ⑤ 中尊寺
 - ⑥ 高館義経堂
 - ⑦ 無量光院跡
 - ⑧ 道の駅平泉

- 凡例
- 銀行
 - 病院
 - 公衆トイレ
 - 急勾配
 - 公衆電話
 - 寺
 - 神社
 - 句碑
 - 観光案内所

ACCESS INFORMATION

●飛行機(JAL・FDA)

札幌	(55分)
大阪	(1時間25分)
名古屋	(1時間10分)
福岡	(1時間55分)

いわて 花巻空港

●鉄道(JR)

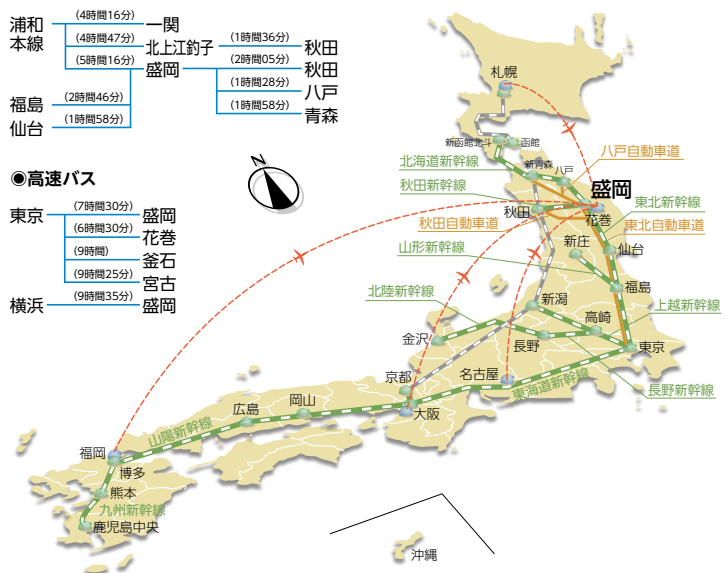
東京	(約2時間04分)	一ノ関
	(約2時間15分)	水沢江刺
	(約2時間24分)	北上
	(約2時間35分)	新花巻
	(約2時間13分)	盛岡
仙台	(約40分)	秋田
	(約2時間31分)	新青森
	(約2時間38分)	新函館北斗
	(約2時間13分)	札幌
東京	(約2時間38分)	いわて沼宮内
	(約2時間31分)	二戸

●自動車(高速道路)

浦和本線	(4時間16分)	一関
	(4時間47分)	北上江釣子
	(5時間16分)	盛岡
福島	(2時間46分)	秋田
仙台	(1時間58分)	八戸
	(1時間58分)	青森

●高速バス

東京	(7時間30分)	盛岡
	(6時間30分)	花巻
	(9時間)	金石
	(9時間25分)	宮古
横浜	(9時間35分)	盛岡



そして未来へ。

平泉は、仏国土(浄土)を直接的に表した建築・庭園の顕著で普遍的な価値が認められ、世界遺産に登録されました。平泉の歴史・文化は、さまざまな側面を持っています。私たちは、平泉の多様な価値をより広く伝えていくうえで、登録資産に関連する数多くの有形・無形の文化財もまた重要であると考えています。とりわけ、柳之御所遺跡・達谷窟(平泉町)、骨寺村荘園遺跡(一関市)、白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡(奥州市)は、平泉を理解する上で重要な遺跡です。平泉をさらに価値あるものとして世界にアピールするため、私たちは登録資産の追加・拡張をめざす取り組みを進めます。



骨寺村荘園遺跡(一関市) 白鳥館遺跡(奥州市) 長者ヶ原廃寺跡(奥州市)

観光のお問い合わせ

平泉町観光商工課
〒029-4192 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2
tel.0191-46-2111(代)・46-5572(直通) fax.0191-46-3080
<http://www.town.hiraiwumi.iwate.jp/>

(一社)平泉観光協会
〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉字泉屋61-7
tel.0191-46-2110 fax.0191-46-2117
<http://hiraiwumi.or.jp/>

